



2022年1月6日 第2462回例会
1月第1例会



RIテーマ「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」

本年度会長テーマ「新しい風と微笑みを」



「職業奉仕月間」

◆ 会長時間 ◆

梶本会長



皆さん新年明けましておめでとうございます。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

昨年の夜間例会並びに会員家族同伴懇親会の設営、親睦活動委員会の皆様ご苦労様でした。私が経験した夜間懇親会では、特に印象に残るひとつとなりました。

さて、今期も残り6ヶ月となりましたが、今から事業が目白押しとなります。2月23日の「ロータリー奉仕デー」in 宮島に始まり、3月10日の創立52周年記念夜間例会、未定ですが4月の家族会、4月29日の広島14ロータリークラブ合同懇親ゴルフ大会、6月23日の1年間の慰労を込めての夜間例会など。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

1月は職業奉仕月間です。2004年11月のRI理事会で10月に指定されていましたが、2014年10月の理事会で大幅な特別月間の変更があり、1月へ移行した月間です。

そして、クラブ及び地区は職業奉仕月間を活用するよう推奨されています。①可能であれば、地区レベルの行事でロータリーボランティアを表彰する。②ロータリー親睦活動への関与を推進する。③職業奉仕活動またはプロジェクトを提唱す

る。④空席の職業分類に会員を入会させるために会員増強活動を推進する。となっていますが、まだまだ職業分類の中で欠けている職種があります。今期は会員増強5名を目指していますので、是非新会員募集のご協力をお願いします。

オミクロン型新型コロナウイルス感染症が広島でも広がってきていますので、Zoomと併用した例会の運営を検討してまいります。ご協力よろしくお願いいたします。

☒ 物故会員に黙祷

広島中央RC 安藤 徹哉（あんど う てつや）
会員（サンゲン㈱代表取締役）が12月20日（月）にご逝去されましたので、謹んでお知らせいたします（享年59歳）。

☒ 米山記念奨学会特別寄付金の累計額が

**46,208,750円となりましたので、米山
功労クラブとして感謝状が届きました（100
万円毎 第46回）**



会務報告

松岡(輝)幹事



米山学友の彭子祐さんから年賀状が届いております。



ロータリーレートが1月から1ドル115円(12月まで114円)に変更になりました。

委員会報告

プログラム・出席委員会

出席報告 片山委員長

本日(1月6日・木曜日)

会員数 87名 出席者 69名

欠席者 18名 ご来客 0名

ご来賓 0名 ゲスト 0名

計 69名

4週前の例会2021年12月2日・木曜日

出席率 100%



同好会報告

紫雀会

鈴木世話人

12月例会が12月16日(木)、立町の麻雀マックで午後6時より行われました。

A卓・B卓と分かれての戦いとなり、A卓の笹野君が前半戦プラス170点とぶっちぎりの得点を持ち、そのまま後半戦も逃げ切ってわずか3ヶ月で初優勝を果たされました。2位はオプ

ザーバーの高田さん、3位は後半戦頑張った木本君でした。

次回例会は1月20日(休)の予定となっております。多数のご参加、お待ちしております。

会員記念日

祝 1月お誕生日おめでとうございます。

(6名)

岡野君 石山君 荒谷君
金本君 諏訪(昭登)君 井原君



スマイルボックス

SAA 北村委員長



松田君(自主申告)

昨年のクリスマス例会で、5歳の長女がじゃんけん大会を勝ち進み賞品をいただきました。

我が娘ながらじゃんけんが強いな…と思っていましたら、どうやら「後出し」で勝っていたようです。娘の「後出し」を暖かく見守ってくださった皆様の寛容の精神に深く感謝し、出宝させていただきます。

諏訪(昭登)君(自主申告・トリプル)

おかげさまで何事もなく無事に今月米寿を迎えることができます。

家族同伴懇親会で高額商品獲得者の皆様

昨年の12月23日に開催されました家族同伴懇親会において、高額商品を獲得された方をスマイルボックスへご招待します。

隅田君、梶本君、吉田(大)君、三浦君、小田君はトリプル。田原君、上野(寛)君、柳原君、森信君、吉井君はダブル。皆さん、奮ってのスマイルをお願いいたします。

紫雀会

12月例会で1位の笹野君はダブルで、3位の木本君もご出宝をお願いいたします。

👤 全会員の皆様

2022年1月6日、本日より新たな年の例会がスタートいたしました。

今年一年、当クラブがさらに発展拡大し、会員の皆様が元気で活躍されることを心より祈念いたしまして、会員の皆様すべての方をスマイルボックスにご招待いたします。

年男・年女放談

■ 卓 話



昭和 25 年生まれ
大本 和則 君

40歳を前にした頃、左目が網膜剥離となり、手術をすることになりました。

入院した際、右目の網膜にも穴が開いていることがわかりました。その時、失明をし、仕事ができなくなり、三人の子どもを抱え今後の生活がどのようなになっていくのか強い不安に駆られました。そのこともあり、手術後の入院1か月の間、トイレ以外はベットでじっと動かずに過ごしました。

入院中、これまでの生活を振り返り、世の中を見てこなかったとの思いがあり、目が見える間にいろんな世界を見ておこうという気持ちが湧いてきました。

また、これまで仕事しかしてこなかったことから、何か趣味を持とうと考え、テニスと尺八を始めました。趣味を通して人と接し、少しは世界が広がったように思います。尺八を続けていたおかげで、ロータリーの例会で何度も尺八の演奏をさせていただきました。良い機会を与えていただき感謝しています。

ただ、いろんな世界を見ようと考えていましたが、横着な性格の上、目の前の仕事の処理に追われ、気が付けばいつの間にか、世界を見ないまま年を重ねていました。そもそも、どのような世界

を見ようとしていたのか、自分自身もわかっていないこともあります。

今思うに、興味を持つことが大切なのかもしれません。

残りの時間がどれ程あるかわかりませんが、これまで消極的であった気持ちを年男を契機に前向きな気持ちに切り替えたいと考えています。





昭和 25 年生まれ
田中 健志 君

皆様 あらためまして「新年明けましておめでとうございます。」

私には3人の子供とそれぞれに男と女が1人ずつ、計6人の孫がいます。親から見るとそれぞれ順調に暮らしています。私は弊社の3代目として父親から仕事を引き継ぎ、会社の存続と発展に努力をしてきたと自負しています。約1年半前に長男が42才になる時に会社の運営を長男に引継ぎ、会長として幾分楽になっています。今年は6回目の年男で7月に72才になります。もし、12年後の84才になる年に再度「年男放談」に登場するとしたらその時まで次の4つの抱負を達成したいと思います。

一つは仕事についてです。

現在の弊社業務と関連がある分野の会社をM&Aで買収を検討中です。その会社は後継者が不在ということで、その社員の雇用継続を含めて社会貢献をし、弊社の次の柱にしたいと考えています。

二つ目はゴルフについてです。

84才までには不可能かもしれませんが、エイジ

シュートを是非達成したいと思います。

三つ目はバイオリンです。

昨年末12月28日に孫のチェロの発表会に特別参加しました。私の孫がチェロを習い始めてまだ2か月ですが、孫がいやいや習うのではなく楽しめるようにとすることで、私と次男の嫁がバイオリン、次男と孫がチェロで「かえるの合唱」という曲を演奏しました。演奏したと言うのもおこがましく、ただ2分間舞台に上がったと言うだけです。夜が暇なので「50の手習いならぬ70の手習い」でバイオリンを習い始めました。毎日15分位練習しています。いつの日か、10分位の曲が楽譜を見ず演奏できるようになりたいと思います。

四つ目は囲碁です。

現在広島西ロータリーの囲碁クラブでは16級ですが、84歳までに初段レベルになれるよう努力するつもりです。

この抱負の4つとも私のボケ防止に役立つものと考えています。

話が変わりますが、年を取ると「キョウイクとキョウヨウ」が大切であると中村 哲朗さんが面白いギャグを言われました。すなわち「キョウイク」とは「教育」ではなく「今日行く所がある」、「キョウヨウ」とは「教養」ではなく「今日用事がある」です。子供は先のことばかり考えているが、老人は過去のことばかり考えていると言われています。私は種々飲み会の会合やゴルフに積極的に参加し、その予定を手帳に記入しており、手帳を見ては先のその日を楽しみにしていますので、私はまだまだ若い部類かなと思っています。

今年度私は2710地区で青少年交換委員長を拝命いたしております。たまたまRIから2022年6月末まで、青少年交換事業が中止されており、昨年度と今年度はインバウンドもアウトバウンドも留学生がいません。そのため委員会の平素業務の

煩わしさから解放されていますが、来年度に向けての準備として、危機管理マニュアル等種々のマニュアルの点検が私の仕事です。



● 阪神・淡路大震災とロータリー

関東大震災の約70年後、1995年1月17日の阪神・淡路大震災のとき、被災地には、国内各地からいち早く多くのロータリアンが駆けつけました。まだ電車が止まり、各地で道路が寸断されているなか、クラブでおにぎりや温かい食べ物を用意して、被災者に配ったり、自分たちの職業を生かして、倒れた墓石を立て直したり、鉄道の復旧作業をしたりしました。また、この地震で親を亡くした子どもたちの里親になり、支援をしているクラブもあります。

さらに、国内の各クラブをはじめ、世界中の多くのクラブから、義援金が寄せられました。これらの義援金で被災者が必要としている多くの物資を買って届けましたが、特に、交通手段が確保できないなか、ロータリーから送った原動機付き自転車は、被災者の様子を確認したり、救援物資を運ぶのに大活躍をしました。また、神戸では、その義援金を元にして、「ロータリー子どもの家」と「ロータリー留学生の家」が建てられました。

広島西RC

検索 

例会日・木曜日 12:30～13:30
例会場・ANAクラウンプラザホテル広島
会 長 梶本 政明
幹 事 松岡 輝明

事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78
リーガロイヤルホテル広島13F
TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870
E-mail: hwrc@godorc.gr.jp
作 成・会報雑誌・広報委員会